

計画目標及び各保健事業の概要

分析の結果、本市の健康課題のうち【重点課題】は以下の5つとします。

- 特定健康診査受診率向上
- 特定保健指導利用率・実施率向上
- 人工透析対策(ハイリスクアプローチ)
- 生活習慣病予防対策(ポピュレーションアプローチ)
- 生活習慣病重症化予防(医療機関への適正受診)

保健事業の実施内容(第3期データヘルス計画)

本市の健康課題に対する、第3期データヘルス計画の保健事業及び目標値を以下の通り設定します。

課題	保健事業	目標値	
		アウトプット	アウトカム
特定健康診査	▶特定健康診査受診率向上事業 特定健康診査未受診者勧奨事業 特定健康診査継続受診対策 早期介入保健指導事業	受診勧奨率100%	特定健康診査受診率60%以上
特定保健指導	特定保健指未利用者対策	利用勧奨率100%	特定保健指導実施率60%以上
脳卒中、心疾患	▶ハイリスクアプローチ		
	糖尿病性腎症重症化予防事業	対象者への通知割合100%	人工透析新規導入患者数の減少
人工透析	▶生活習慣病重症化予防事業(国保連) 受診勧奨判定値超者受診勧奨 保健指導	保健指導の実施率100% 受診勧奨実施率100%	対象者の割合の減少
高血圧症	▶ポピュレーションアプローチ		
糖尿病	健康ハイキング	ハイキング実施回数2回	
脂質異常症	ウォーキングチャレンジ	ウォーキング実施回数1回	健康づくりに関心をもった人の割合100%
骨折	温水プール体験教室	教室実施回数 2コース(木曜日・金曜日)	
	健康フェスタ	イベント参加者の増加	特定健康診査受診率の向上 がん検診受診率の向上
がん	がん検診	特定健康診査対象者ががん健診と同 時受診を周知した人数	各種がん健診受診率50%以上
喫煙者	たばこ対策	集団健診での禁煙啓発 禁煙セミナーの実施	喫煙率 男性15.0%以下 女性4.0%以下
歯科検診	歯科検診	広報での歯周疾患健診の記事の掲載 等にする啓発	歯周疾患健診受診率の向上10%以上
骨折	骨粗しょう症検診受診率向上	女性の健康週間に骨粗しょう症教室 の実施	骨粗しょう症健診の受診率15%以上 骨格系疾患による入院医療費の減少
医療費適正化	後発医薬品の使用の啓発	差額通知の発送率100%	後発医薬品の普及率80%以上
	重複受診等訪問指導事業		
	重複服薬者保健指導事業	対象者への通知割合100%	対象者の割合の減少

特定健康診査・特定保健指導の実施目標

計画期間最終年となる令和11年度までの、各年度の目標値を以下の通り設定します。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国目標)
特定健康診査受診率目標	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率目標	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	60.0%以上

泉佐野市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要版

計画本編はこちらからご覧ください。



計画の背景と目的

「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としています。

このたび令和5年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定します。

他計画との関係

計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」(厚生労働告示)を踏まえ、関連する他計画との調和を図ります。

期間

令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

泉佐野市の特性

泉佐野市は、大阪市から南に約30キロメートルに位置し、市域面積は56.51平方キロメートルであり、背後に一部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁するなど美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。

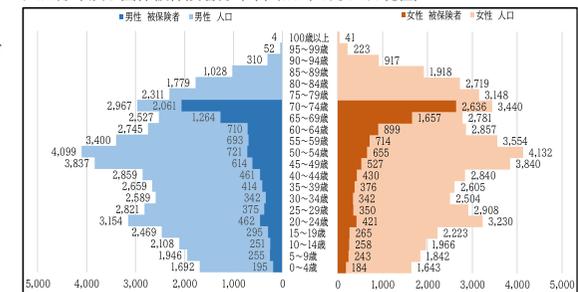
一方、近年は宅地面積の増加がみられ、市街化区域周辺における住宅地の開発が進んでいます。

交通面では、関西国際空港に隣接し、鉄道では南海本線、JR阪和線、道路では阪神高速道路湾岸線、阪和自動車道、国道26号及び170号などの充実した広域交通網で周辺地域と結ばれ利便性の高い環境にあります。

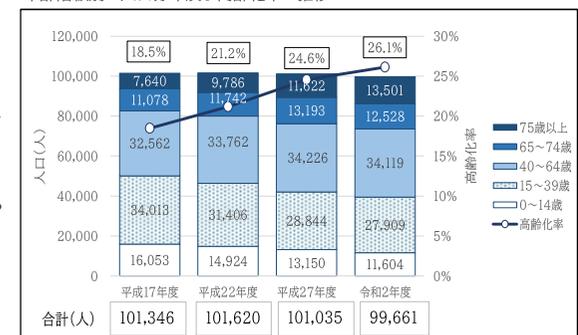
本市の人口分布では、男女ともに40歳～59歳までの年齢階級が最も多く、男性国保被保険者分布では、70歳～74歳までの年齢階級が最も多く、女性国保被保険者分布も同様に70～74歳の年齢階級が最も多くなっています。

高齢化率は令和2年度で26.1%に到達し、平成17年度から約1.4倍に増加しています。

人口分布及び国保被保険者分布(令和5年3月31日現在)



年齢階級別の人口分布及び高齢化率の推移



国保被保険者の状況

本市の国保被保険者は、平成22年度には40歳～64歳が最も多く、次いで0～39歳が多くなっていますが、平成27年度以降は、0歳～39歳までが最も少なく、65歳～74歳が最も多くなっています。

それに伴い、高齢者割合も右肩上がりであり、令和2年度では40.7%まで上昇しています。

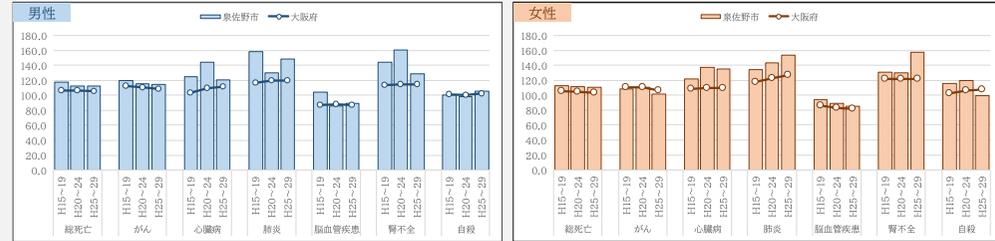
年齢階級別の国保被保険者分布及び高齢者割合の推移



死亡の状況

男女ともに「心臓病」、「肺炎」、「腎不全」の死亡比が100を大きく上回り、かつ大阪府平均よりも高水準にあります。

主要疾病標準化死亡率(全国100に対する年齢を考慮した死亡率の比)の推移

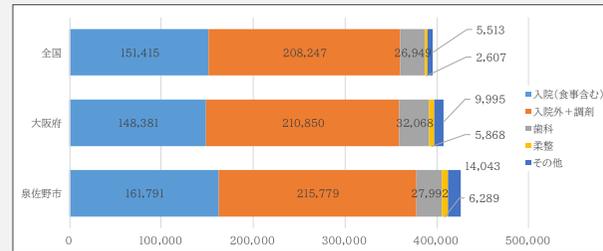


一人当たり医療費の比較

本市の被保険者一人当たり年間医療費は425,894円であり、全国及び大阪府よりも高くなっています。

費用区分別では、「歯科」以外のすべての区分において、全国及び大阪府よりも高くなっています。

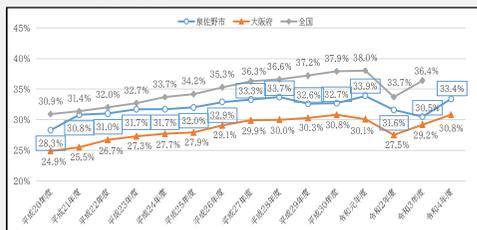
被保険者一人当たり年間医療費の比較(令和3年度)



特定健康診査受診率

特定健康診査受診率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度に急激に落ち込みましたが、令和4年度は33.4%まで回復しており、大阪府より高くなっています。

特定健康診査受診率の推移



特定保健指導実施率

特定保健指導実施率は平成30年度以降、下降傾向にあり、令和4年度は15.5%で、大阪府18.1%より低くなっています。

特定保健指導実施率の推移

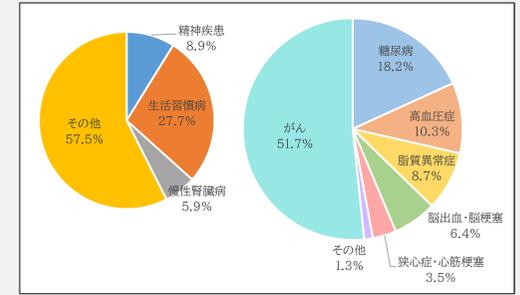


疾病別医療費

総医療費の27.7%を生活習慣病が占めており、そのなかでも最も多くを占めるのは「がん」です。

次いで「糖尿病」、「高血圧症」、「脂質異常症」と続き、この3疾病で4割近くを占めています。

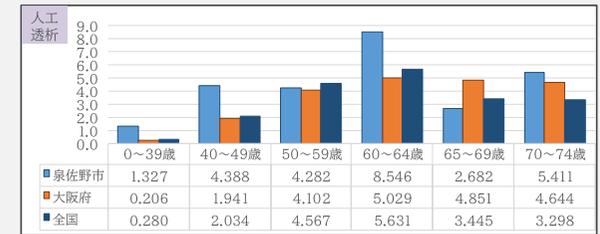
疾病項目別医療費割合(令和4年度)



透析患者の状況

「人工透析」のレセプト件数は50～59歳及び65～69歳を除くすべての年齢階層において全国及び大阪府よりも多くなっています。

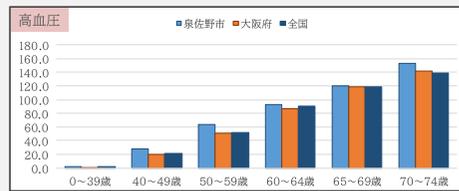
被保険者千人当たりレセプト件数(令和4年度)



生活習慣病

「高血圧」、「糖尿病」、「脂質異常症」はすべての年齢階層において全国及び大阪府よりも多くのレセプトが発生しています。

被保険者千人当たりレセプト件数(令和4年度)



メタボリックシンドローム該当者

メタボリックシンドローム該当者の割合は、高い水準で緩やかな上昇傾向にあったものの、令和4年度は32.3%まで大きく上昇しています。

性別年齢階層別にみると、男性側が全体の数値を大きく押し上げている状況です。

メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移

